

財産目録の操作説明

1. 合計部門の選択

部門No	区分名	入力=1
0	合計	
1	福祉事業	
2	本部会計	1
3	A事業所	
4	ひまわり保育所	1
5	介護事業	
6	特養施設	1

財産目録は通常は法人全体で作成しますので、“合計”部門を選びます。
ただし、事業別あるいは拠点別の財産目録を作りたい場合はそれぞれの部門を選んでください。

2. 財産目録の作成



財産目録のボタンを押すと、次のような画面になります。
この画面で必要な事項を記入して、“印刷”ボタンを押してください。

場所・物量等及び使用目的等は該当の行でダブルクリックしてください。

code	科目名	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
10000	【資産の部】						
11000	流動資産						
11010	現金預金						
11020	現金						852,000
11040	オリオン銀行						50,050,000
11060	スバル銀行						3,000,000
11080	ペンギン銀行						2,000,000
11300	有価証券						
11320	事業未収金						
11340	未収金						300,000
11360	未収補助金						
11380	未収収益						
11400	受取手形						
11420	貯蓄品						

3. おもな操作

場所・物量等及び使用目的の文字入力

ダブルクリックすると次のような画面になりますので、記入してください。

Enterkey を押すと、改行して複数行の入力が出来ます。

1 行は 13 文字まで入り、入力できる最大文字数は全角で 50 文字までです。

空白行を入れると行間が広がりますので、不要な空白行は削除してください。

The screenshot shows a window titled 'zaisan2_popup' with a green header 'オリオン銀行'. Below the header are two input fields: '場所・物量等' (Location/Quantity) and '使用目的等' (Usage Purpose). The '場所・物量等' field contains 'オリオン銀行銀座支店 普通預金' and has a character count '1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3'. The '使用目的等' field contains '運転資金として' and has a character count '1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3'. To the right of these fields is a button labeled '開じる(C)'. Below the input fields are three bullet points: '・ 13文字/行で入力してください。', '・ 複数行の入力は Enterキーで改行します。', and '・ 空白行を入れると印刷したときに行間が広がりますので、余分な空白行は削除してください。'

複数行の明細が必要な場合

行挿入をしたい一つ下にカーソルポインタを移動させて、“+” ボタンを押すと 1 行追加されます。



建物に 2 行追加した例です。Code で整列しますので、この例のようにコードを追加してください。

12010	基本財産
12020	土地
12040	建物
12041	
12042	
12060	定期預金
12080	投資有価証券

4. 出力例

財 産 目 録

別紙4

社会福祉法人 あいうえお会
合計

平成27年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
【資産の部】						
流動資産						
現金預金						
現金						852,000
オゾン銀行	オゾン銀行銀座支店 普通預金		運転資金として			50,050,000
スバル銀行						3,000,000
ペンギン銀行						2,000,000
現金預金						55,902,000
未収金						300,000
流動資産合計						56,202,000
固定資産						
基本財産						
土地						50,000,000
建物	〇〇拠点 〇〇市春風台2-5-120 △△市 青空町10-5-200		保育所園舎 デイサービスーション			80,000,000
基本財産合計						130,000,000
その他の固定資産						
機械及び装置						3,000,000
車両運搬具						2,000,000
器具及び備品						5,000,000
その他の固定資産合計						10,000,000
固定資産合計						140,000,000
資産合計						196,202,000
【負債の部】						
流動負債						
その他の未払金						300,000
預り金						180,000
職員預り金						
職員預り金(その他)						100,000
職員預り金						100,000
流動負債合計						580,000
固定負債						
ああああ						-1,000
長期未払金						-10,000
固定負債合計						-11,000
負債合計						569,000
差引純資産						195,633,000

5. 土地や建物に明細行を挿入する方法

“+” ボタンを押して行挿入をします。

必要な事項を記入して、それぞれの明細金額は“内訳金額”欄に記入します。

code	科目名	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	獲得対照表価額	内訳金額
12000	固定資産							
12010	基本財産							
12020	土地						60,000,000	
12040	建物						50,000,000	
12041		〇〇市〇〇町5-3-12		園舎として使用				30,000,000
12042		◇◇市▽△町10-50		ディサービスセンター				20,000,000
12080	定期預金							

この方法による出力例は次のように建物の内訳金額として表示されます。

固定資産								
基本財産								
土地								60,000,000
建物								50,000,000
	〇〇市〇〇町5-3-12			園舎として使用				30,000,000
	◇◇市▽△町10-50			ディサービスセンター				20,000,000
基本財産合計								110,000,000

この方式の利点は勘定科目の変更を行うことなく明細行の追加が出来ます。

6. 土地や建物に小科目を設定する方法

勘定科目の設定画面で次の例のように補助科目を追加すると、この小科目が明細行になり建物小計になります。

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)							
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
▶ 12010	基本財産	2	1	0					
12020	基本財産/土地	0	1	0				21	
12040	基本財産/建物	1	1	0					
12041	建物(〇〇拠点)	0	1	0	1			22	
12042	建物(△△拠点)	0	1	0	1			22	
12080	基本財産/定期預金	0	1	0					
12080	基本財産/投資有価証券	0	1	0				29	

このようにすると、財産目録で明細行を挿入しないでも次のような出力になります。

固定資産								
基本財産								
土地								60,000,000
建物								
建物(〇〇拠点)	〇〇市青空町1-5-120			保育園園舎				30,000,000
建物(△△拠点)	△△市春風5-105			ディサービス事業				20,000,000
建物小計								50,000,000
基本財産合計								110,000,000

この方式の利点は一度設定すると便利ですが、既に入力してある期首繰越金や仕訳をやり直す必要があります。また、対応する資金収支科目も小科目の追加が必要になります。